

4つのK

による攻めの行政を目指して



さいとうふみお
 齋藤文夫市長 就任あいさつ

通学費負担の軽減など、若いお父さんお母さんなど、さらなる子育て世代の応援をまいります。

②豊富な地域資源を活用し、一層の観光躍進を目指す

「ワールドクラスの観光資源、ワールドクラスのおもてなし、ワールドクラスの満足感で世界の日光を体験しよう」をキャッチフレーズに掲げた日光市観光振興計画を3月に策定しました。

この計画の考え方により、今後控えている世界遺産「日光の社寺」登録15周年や、徳川家康公400年式年祭、日光山開山1250年などの行事をはじめ、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、さらに、2022年に本県で行われる国民体育大会を見据えた、長期的な誘客対策に取り組んでまいります。

平成25年、日光への観光客数は1,000万人を超えました。しかし、まだ東日本震災前の観光客数には至らないことから、今後の観光振興策を積極的に打ち出してまいります。

③子どもからお年寄りまで安心して暮らすことができるまちをつくる
 高齢者福祉や障がい者福祉の充実

はもちろんのこと、健康づくりのための推進条例を制定し、市民の皆さんの健康寿命の向上に努めてまいります。

消防・防災対策としては、全市を統一した防災行政無線を整備するとともに、消防・防災拠点である藤原消防署の建設を進めてまいります。

さらには、交通対策や高齢者集落対策、空き家対策など、地域をみんなで支え合えるまちづくりを進めることにより、誰もが安心して暮らせる住みやすいまちを目指します。

④日光のブランド力を強化し、産業と経済の活性化を図る

日光ブランドとして、平成25年度に「自然・歴史・文化・風習」の4つの分野で、47の地域資源の認定を行いました。引き続きこの制度の充実を図るとともに、地場産品や特産品開発を支援して、日光のブランド力を強化してまいります。

ますます激しくなる都市間競争の中で、他の自治体との競争に勝ち抜くためには、総合計画や各種計画を着実に実行することはもちろんですが、何より産業の振興を図らなければなりません。

そのためには、農林水産業、商工業、先ほどの観光も含めたそれぞれ

このたびの市長選挙において、多くの市民の皆さんや各方面からの強いご支援と負託を賜り、三たび市政をお預かりすることになりました。私は、かねてより「まちづくりの主役は市民です」「市民の皆さまに仕えることが私の仕事です」との政治理念に基づき公務を行ってまいりました。3期目の市長選出馬に当たりましても、この政治理念に基づき公約を掲げたところでです。

私は2市2町1村の合併後の1期目は、「早期の一体感の醸成」と「地域の均衡ある振興発展」を、2期目は、新しい価値を創りだし、新しい日光を創造する「日光創新」を打ち出してまいりました。これからの4年間は、この日光創新の考え方をともに、50年、100年後も光り輝く日光市であり続けるため、さまざまな施策を打ち出し、攻めの行政を貫いてまいります。

そのために、3期目の政策の基本的な考え方として、「幸福」「健康」「環境」「危機管理」の「4つのK」を掲げました。併せて一律な行政サービスの提供から、地域の特性に応じ地域の特性を活かした、かゆいところに手が届く、オーダーメイドの市政を進めてまいります。具体的には、「4つのK」を実現するための施策を、大きく6つに分けて行い

の分野において、さまざまな振興策を打ち出すことにより、攻めの行政を進めてまいります。

また、一方では太陽光発電や水力発電、バイオマスなど再生可能エネルギーの導入の支援など、環境政策も行うことにより、みんなが憧れるまち「日光」にまいります。

⑤まちづくりの主役となって活躍する日光市の「ひとづくり」の推進

活力と魅力溢れるまちづくりや地域づくりのためには、市民の皆さんがまちづくりの主役となり、地域や社会の担い手となって力を発揮していただくことが必要です。「まちづくり基本条例」「協働のまちづくり推進の指針」に基づきまちづくりを推進し、将来に向けたひとづくりや、市民の皆さんがまちづくりの主役となるための、人材を活かす拠点づくりを進めてまいります。

⑥日光創新によるまちづくりを推進するための原動力となる体制づくりに努める

男女共同参画社会づくりについては、市民と行政のパートナーシップのもと取り組むとともに、男性と女性が共に協力し合い仕事と家庭が両

「4つのK」

- 幸福：市民一人一人が感じる幸せのまち「日光」をつくりまします
- 健康：心と体の健康はもとより、都市の健康、農山村の健康も目指します
- 環境：自然環境を考えたクリーンエネルギーを推進します
- 危機管理：災害に強いまちづくりを推進し、一歩先行く安心のまちを目指します

ます。これらの施策により、皆さんと一緒に光り輝き続ける日光市をつくってまいります。

①将来を担う子どもたちと子育て世代の支援

これは、私の公約の中でも優先順位1位の施策です。

まずは中学3年生までの医療費無料化の仕組みを高校3年生まで拡大いたしました。

また、病気の時に自宅で保育が困難な子どもを一時的に預かる新しい保育サービスである「病児保育」も今年度開始いたします。

他にも、遠距離通学児童・生徒の

立できるようワークライフバランスに配慮した支援を行ってまいります。また、公共施設の有効活用と改善のための計画策定を進めるとともに、引き続き財政の健全化に取り組んでまいります。

市長のプロフィール 略歴

- 昭和19年生まれ(70歳)
- 昭和42年 青山学院大学経済学部卒
今市市奉職
- 平成12年 今市市長に初当選
- 平成16年 今市市長当選(2期目)
- 平成18年 初代日光市長に当選
- 平成22年 日光市長当選(2期目)
- 平成26年 日光市長当選(3期目)

政治理念

市民主権、人権尊重、世界平和、不偏不党、公平無私、徳のある市政経営、品格のある日光市の創造

趣味

読書、スポーツ観戦、山歩き

座右の銘

- 『抜苦与楽』
- 『自らを反省し、自らを造れ』
- 『Learn to labour and to wait』